

大伴小だより

富田林市立大伴小学校 校長 釜坂 佳成

6月号

富田林市南大伴町一丁目2番20号

0721-24-3104



桜も梅も……(T_T)

おおともしょうがっこう おお さくら き なんぼん はる はな さ
大伴小学校には大きな桜の木が何本もあって、春になるときれいな花を咲かせていたそうです。さんねん いま すうぼん さくら のこ
残念ながら今は数本の桜しか残っていませんね。これは
おおともしょうがっこう とんだばやし がっこう おな じょうたい
は大伴小学校だけではなくて、富田林のほとんどの学校でも同じような状態らしいのです。その原因は、右の写真の“クビアカツヤカミキリ”という外国からやってきたカミキリムシです。この幼虫が桜の木の幹の中を食い荒らすのです。その結果、葉や根から栄養をとれなくなってしまい、大きな木でも枯れてしまいます。とんどん にほん さくら がなくなってしまうのではないかと、とても心配です。校長先生のおうちには うめ き まいとしうめ み と きよねん はんぶん き か
梅の木があって、毎年梅の実がたくさん採れていたのですが、去年に半分くらいの木が枯れてしまいました。これもカミキリムシの幼虫のしわざのようです(T_T)。



ところで、みなさんには元気に外で遊んでほしいと思いますが、6月になるといろんな虫の活動が盛んになります。そこで注意しなければいけない虫を紹介しておきます。



ひとつ目は、外国からやってきて、人に害を与える生き物、“セアカゴケグモ”(左の写真)です。遊具の裏や階段、ベンチの裏、ブロックやフェンスの隙間、排水溝の側面やふたの裏側、低木の下などどこにでもいて、かまれるとチクリとした痛みがあり、ひどい場合は発熱していくこともあるようです。もし見つけても、さわ 触ったりせずにその場から離れるようにしましょうね。

もうひとつ。“マダニ”(右の写真)にも気をつけましょう。肌にとりついて血を吸うのですが、いろんな病気をうつされることもあります。山や畑、草むらに入るときには虫よけスプレーをふりかけたり、長そで・長ズボンをはいて、できるだけ肌を出さないようにしましょう。



ほかにも毒をもつ虫やへびなど、私たちの身の回りには危険がたくさんあります。でも恐がるだけでなく、正しい知識をもってつきあっていきましょうね。